

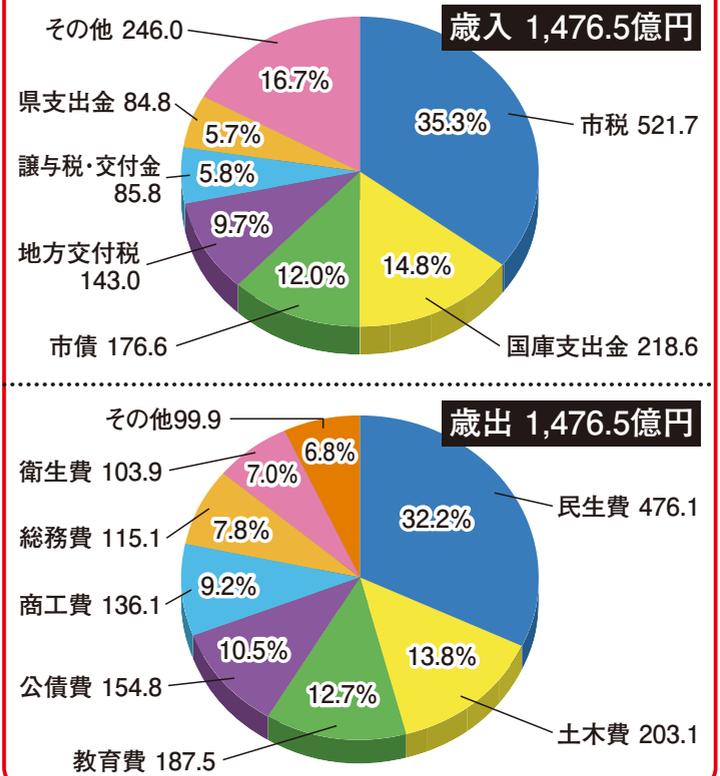


こんにちは、前橋市議会議員の「くぼた出いずる」です。3月29日平成28年第一回定例会(議会)が閉会となり、平成28年度予算が決まりました。今年度の一般会計予算は1,476億円(前年比3.1%増)(※右記「平成28年度当初予算概要」となり過去最高の予算となりました。特に人口減少、超高齢化社会に対応していくため前橋版総合戦略(※下記「10のシンボル事業」)を策定し、地方創生を推進していくことになります。本市の人口は2040年までに現状のまま推移すると約28万人に、2060年には約22万人になると推計されており、近年では自然減に加えて、社会減(転入数と転出数の差)の傾向が続いております。このような状況の下、本市は2040年までの人口目標を30万人とし、まずは5年間で①合計特殊出生率を1.42→1.52 ②20-24歳の市外への転出超過数を△251人→△118人の達成を目指します。

本市は山本市長をリーダーに現在の前橋の課題解決に向けて、スピード感を持った着実なる計画の遂行を目指すとしています。「地方創生」は国が打ち出した言わば都市間競争であります。人口減少問題に歯止めをかける各自治体の施策について良いものは国から交付金が出されます。逆にアイデアのない自治体は将来的に消滅の危機に瀕するかもしれません。

私も本市の今後の計画が確実に行われ、本市の目標が達成できるかをしっかりとチェックを行っていくとともに引き続き積極的な政策提言、提案を行ってまいります。地域・企業の皆さまにおきましては、引き続きのご支援、ご意見を賜れば幸いです。今年度もよろしくお願いいたします。

平成28年度当初予算概要 (単位:億円)



10のシンボル事業 [前橋版総合戦略]

結婚・出産・子育て支援

- ①若年男女の結婚への壁打破(HAPPY MARRIAGE LAB:ハピラボ) 現代のニーズに合致した新たな結婚支援や出会いの機会の応援
- ②「ジョブセンターまえばし」による包括的就職支援 職業相談から就職後の定着支援まで、ハローワーク前橋と連携した包括的就職支援
- ③「子育て世代包括支援センター」の充実 妊娠期から子育て期までの不安や負担を解消するワンストップ相談・支援拠点の充実
- ④地域でいきいき学びの場 地域支援のもと、小中学生を対象に平日は学習活動、休日は体験活動を提供

若者の定着

- ⑤産学官民コンソーシアムによる学生の定着促進 COC+大学を中心に、産学官民コンソーシアムを構成し、市内企業への長期インターシップ等を実施
- ⑥「ベンチャーヘブンまえばし」の実現 「前橋市創業センター」を中心に、各支援機関と連携した一元的な創業支援を展開
- ⑦魅力の発信拠点となる新たな「道の駅」 「都市と農村の交流空間」をテーマに、本市の魅力を発信する拠点となる道の駅を開設
- ⑧地域づくりネットワークを核とした「家族移住」の促進 移住コンシェルジュやお試し移住により、移住を希望する東京圏の若者家族を支援

生涯活躍

- ⑨前橋版CCRCの推進 東京圏から移住したアクティブシニアと地域住民が共に生涯活躍できるまちづくりを推進
- ⑩交通ネットワークの再編 自動車に過度に依存しない交通ネットワーク形成の構築(鉄道・デマンドバス・LRT等)

議会活動 [本会議総括質問一覧]



第一回定例会(3月)

1 前橋版総合戦略について	①策定のプロセス ②主な事業の具体的な展開 ③各事業の進捗管理
2 シティプロモーション事業について	①移住コンシェルジュ ②前橋のPR方法と展開 ③本市の考える移住者像 ④移住者支援
3 空き家対策について	①H27年度補助制度の結果 ②H28年度補助制度の内容 ③今後の取り組み
4 コンパクトシティ推進による中心市街地再生について	①立地適正化計画 ②駅前を中心とした再開発の現状 ③前橋駅南口側の再開発に関する考え方

Q&A【前橋版総合戦略について】1

Q 前橋版総合戦略の案を見ると、事業として取り組んでいく12施策(42事業)が記載されております。この事業の中でも当局が最も大切だと考えている主な事業があればその事業の具体的な展開について伺います。

A 本市では、「人口減少・超高齢化社会というピンチをチャンスに変える」「人口減少問題の克服や東京一極集中の是正を解決する全国モデルを創る」という考えのもと、「ジョブセンターまえばし」による包括的就職支援事業、「ベンチャーへブンまえばし」の実現事業を進めていきたいと考えています。

Q&A【シティプロモーション事業について】2

Q 本市で「こういう人たちに移住してきてほしい。」といった本市が考えている移住者のイメージをどのように考えているのか当局の見解を伺います。

A 前橋市の強みを生かすためにも、健康・医療都市の側面や、高等教育機関が充実して多様な教育を受けられる「教育」の面、また豊かな「自然」などを考えますと、安心した子育てが可能な都市として、「子育て世代」が移住者像の一つとして挙げられると考えます。

Q 税収の増額や消費活動の活性化など、財政的経済的効果は高いと考えられる首都圏勤めで本市に移住し通勤するような人に、来てもらうための支援策についてどのように当局が考えているのか見解を伺います。

A 本市の地域特性として、新幹線通勤などによりまして「遠距離通勤」や「ダブルプレイス(二地域居住)」なども可能な強みを持ち得ていると考えますので、新幹線通勤補助や二地域居住に伴う交通費補助などを先進的に行っている都市の実態や、移住・定住促進面における効果なども、今後研究してまいりたいと考えます。

Q&A【コンパクトシティ推進による中心市街地再生について】4

Q 我が国の今後のまちづくりとして重要視され、本市においても中心市街地の再生や立地適正化計画などが行われているコンパクトシティ推進について、現在までの取り組み状況と今後の予定について伺います。

A 立地適正化計画につきましては、地域公共交通網形成計画などの関連計画との整合を図りながら、全庁的な組織で検討を進めているところです。
また、今後の予定につきましては、有識者や関係団体等で構成される協議会や市民の方々の意向を反映しながら、平成28年度末には「都市機能誘導区域」を設定し、平成30年度末には「居住誘導区域」を設定したいと考えております。

Q 前橋駅の南口側では、学生を中心に駅とけやきウォーク前橋の往来が数多あり、市民文化会館周辺には飲食店が何店舗か点在しております。この地域はこうした需要のポテンシャルがあるにも関わらず、老朽化した建物や平面駐車場が多く存在する状況でもあります。そこで、前橋駅南口側についての再開発についても具体的な施策を検討していく必要があると考えますが当局の考え方について伺います。

A JR前橋駅南口側での人の往来等は十分意識しておりますので、現在進めている事業の進捗等を勘案しながら、今後検討してまいりたいと考えております。

トピックス1

第五コミュニティセンター



H27年度補正予算にて多機能トイレが設置されました！エレベーター設置など更なるバリアフリー化に向けて市と協議・検討を行っていきます。

トピックス2

六供温水プール



本年7月20日まで改修中です！清掃工場延命化工事も開始されますが、下水処理施設、集会所、コミュニティセンターを含め今後の抜本的な整備計画に関して、市及び自治会等などと協議を進めていきます。

くぼた出

住所:前橋市文京町3丁目26-9 TEL:027-226-6588 FAX:027-226-6286

Facebook <http://www.facebook.com/izuru.kubota1>

メールアドレス:kuiz0620@gmail.com